

エクストリームシリーズ 2017 尾瀬街道伊南大会

■尾瀬街道伊南大会 2名カテゴリー オープン 優勝チームコメント

姫と二人の家来(姫はお休み) 清水 直樹さん

皆様、夏の大会では初めまして、「姫と二人の家来」です。普段はロゲイニングや MTB 耐久レースに参加しています。

このところ、姫はお休みしていて、本レースには家来の男二人で参加となりました。

レースの構成は、前半フット、後半 MTB によるオリエンテーリングでした。

フットは CP を自由な順で回ってもよいということで、僕たちのチームはロゲの要領で効率的な回り方を選択しました。基本は CP4 から時計回りで巡り、CP3 を最後にとってスタート地点と同じ場所の CP10 に戻るというものです。CP3 に行ってみれば、そこは真の CP の位置を教えるだけのポイントで、真の CP は2キロくらい離れたところにあることがわかりました。最初に CP3 に行けば、真の CP はその後のナビプランに組み込んだのですが、僕たちはただただ4キロを余分に走ることになりました。このようなイレギュラを想定できないのは、ロゲに慣れきってしまっているせいでしょう。それまでトップを走っていると思っていましたが、致命的ともいえる 20 分を失ってしまいました。

結局、4 番手で MTB をスタートさせました。CP11 から CP14 までで 2 位に上がっていたのですが、CP15 ポートセクションまでの平地区間でゼッケン 4 ともうひとチームに抜かれ、再び 4 位になっていました。

どこのトップチームでも 1 回くらいはミスするものです。その後 1 位を走っていたチームはロストしたそうで 15 分くらいを失ったのではないのでしょうか。2 位 3 位のチームは CP16 から CP17 の区間を MTB で藪漕ぎしなくてはならないルートを選択してしまったのだと思います。僕たちは林道を迂回するルートを取ったのがよかったのでしょう。最後の CP17 を取ったときはゼッケン 4 に次ぐ約 20 秒差の 2 位に上がっていました。そして林道の下り区間で追いつき、ゴールまでの平地の勝負になりました。

ゼッケン 4 のチームは 3 人。おそらく僕たちを平地でちぎるという戦略を取りました。先ほどちぎっていますから、当然の戦略です。僕たちのそれに対抗する戦略はゴール前スプリントに持ち込むことです。これも常套手段でしょう。

ゼッケン 4 のチームは MTB では考えられないようなスピードで 5 人の集団を引きました。距離にして 4 キロくらいかと思います。僕たち 2 人は何とか 3 人に食らいつきました。そして、終盤近くでゼッケン 4 のチームの 3 人の間に僕たち 2 人が割って入るという集団に変えることができました。つまり、チームの分断に成功したわけです。チームの最後尾が順位を決めるわけですから、これで勝つ確率がかなり高くなりました。そして、残り 200 メートルの砂利道の登りでアタックを仕掛け、ぎりぎりで勝利をつかみました。

自分たちのパワーを使い切った勝ちだったので、本当に満足しています。

また、厳しくも楽しいコースレイアウトのレースを企画してくださったスタッフの方々には御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。